

ハングスターファー シリーズ

ハングスターファー社は、1937年 アメリカ・ニュージャージー州にて創業いたしました。

日本では1953年に紹介されて以来、長年にわたり、優れた技術力と多くの実績によって現在も高く評価されています。



● 塑性加工油

タイプ	製品名	主な用途	代 表 性 状		
			引火点 ℃	動粘度 mm ² /s@40℃	色 ASTM
塩素系油膜形	ハングスターファー オールドロー J-50	SPC系、ステンレス鋼、チタニウム合金の引抜き、伸線、絞り、打抜き、プレス、ヘッダー加工等に優れた性能を発揮する万能塑性加工油。	192	210	L2.5
	オールドロー J-1		難燃性	1900	L5.0
	オールドロー J-2		難燃性	11500	L7.0
	オールドロー J-1E	ハングスターファーオールドローJシリーズの姉妹品で脱脂性に優れています。	難燃性	950	L5.5
	オールドロー J-4E		難燃性	590	L5.5
	ハングスターファー 42 1/4 XX	強い粘着性と高い潤滑性(極圧性)をもった伸線機のダイスボックス専用油。	難燃性	30000	L4.0
ハングスターファー J-1 シンニングオイル	●オールドローJシリーズの粘度調整油。 ●単体でも使用できます。	176	28	4.5	
水溶性 エマルジョン形	ハングスターファー S-600	エマルジョンタイプの水溶性塑性加工油。 アルミニウム、炭素鋼の打抜き、プレス、絞り加工用。	160	270	青緑色

● 切削加工油

選定の目安 (◎: 最適 ○: 適)

タイプ	製品名	概 要	希釈液の性状		屈折計による 換算ファクター	被 削 材					
			外 観	pH (5%)		銅・ 銅合金	アルミ 合金	鋳 鉄	炭素鋼	ステンレス 鋼	チタニウム
エマルジョン	S-500	被削材を選ばず、広範囲の切削加工に使用可能、厳選された特殊添加剤を配合しており鋼はもちろん特殊合金の難加工にも適しています。航空機メーカー各社のアプルーバル取得。	淡緑色 エマルジョン	9.1	×1.1	○	○	○	○	◎	○
	S-500CF	S-500の非塩素(塩素フリー)タイプ。特にアルミ等非鉄系材料から鉄系材料まで幅広く適応します。航空機メーカー各社のアプルーバル取得。	淡緑色 エマルジョン	9.2	×1.0	○	◎	○	○	○	○
	S-600	S-500の特長をそのまま更に極圧添加剤、脂肪油の配合を高めた重切削加工油です。	淡緑色 エマルジョン	9.1	×1.1	○	○	○	○	◎	○
	S-2000	極圧添加剤の配合割合を最大に高めた難削材重切削加工及びBTA加工に優れています。	淡緑色 エマルジョン	9.3	×1.1	○	○	○	○	◎	○
ソリュブル	S-787 (5080)	全ての金属に適応。高速ノズルに対応し冷却性に優れ、高速加工に適しています。航空機メーカー各社のアプルーバル取得。	薄黄色 半透明	9.2	×2.0	○	○	○	○	◎	◎
シンセティック	S-777 (5070)	全ての金属に適応。特に難削材の穴あけ加工等に適しています。	白 色 半透明	9.1	×2.5	○	○	○	○	◎	◎
	CC-322	全ての金属に適応。特に航空宇宙産業用材料とされる金属加工に適しています。航空機メーカー各社のアプルーバル取得。	白 色 半透明	9.5	×3.6	○	○	○	○	◎	◎
	CC-355	鉄系金属に適応。特に鋳鉄加工時の切粉固着及び防錆性能に優れ、液寿命を延長します。	薄白色 半透明	9.5	×3.0	○	○	◎	○	○	○
不水溶性	SA-521	ステンレス鋼等難削材の自動盤他穴あけ加工に適しています。	赤 色	-	-	○	○	○	○	◎	○
	SA-525										